

授業概要

私たちは、さまざまな人と人との関係（＝社会関係）のなかにいる。友人たちとの関係、家族との関係、近隣や職場の人々との関係。これらの社会関係のなか、私たちはどう組み込まれて生きているのだろうか。また、それは時代とともにどう変わりつつあるのか。このような問いを掲げて、身の周りの社会現象の自明性やしゅくみを改めて問うのが、社会学である。その入門編である社会学Ⅰでは、知人間の情報伝達や家族関係のような身近な話題を取り上げて、その基本的なしゅくみや、現代における特徴を講義する。最近話題となった事件や社会問題にも触れ、新聞記事などを活用しながら考えていく授業スタイルは、日本社会の現状を知るうえで役立つはずである。

授業計画

第 1 回	社会学とは何を考える学問か
第 2 回	社会学の方法
第 3 回	個人間の情報伝達のしゅくみ
第 4 回	異文化間コミュニケーションはなぜ難しいのか
第 5 回	パーソナルコミュニケーションの連鎖としてのうわさ
第 6 回	震災時のうわさとその社会的影響
第 7 回	新聞報道からみるマスコミのしゅくみ
第 8 回	コミュニケーションが作る社会的現実
第 9 回	現代家族の形態と機能
第 10 回	現代家族と子どもの教育
第 11 回	結婚しない若者たち
第 12 回	子どもを持たなくなった家族
第 13 回	家族問題としてのDV・虐待と社会の対策
第 14 回	現代家族のゆくえ
第 15 回	全体のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

現代日本社会の諸現象や諸問題について、基本的な知識を持ち、それについて自分なりに整理し、意見を述べられるだけの考察力を身につけること。

履修上の注意

この授業はテキストを用いないので、毎回の授業をきちんと聞くことが不可欠である。積極的に出席し、学んだことをもとに社会現象について考えていこうとする、意欲的な態度での受講を期待する。

予習・復習

参考文献リストを利用した自主的な学習のほかに、授業で扱ったテーマについての社会観察や考察の課題を出す。その結果は、授業内の小レポート等で報告してもらうことがある。

評価方法

主に学期末試験によって評価する（80%）。数回の授業内小レポートや課題レポートも考慮する（20%）。

テキスト

とくに定めない。授業では主にプリント資料を使用する。